

我が家のわんにゃお

定年後は、 『猫・犬・巨人』が合言葉!!!

守口市／前嶋博行さん&順子さん、
リナちゃん、ぎんちゃんファミリー

前嶋さんが犬を飼うきっかけになったのは、息子さんか幼稚園に行くようになったとき「男の子やし、何もできんでも、犬には怖がらへん子になってほしい」の想いから。そのときのミニチュアピンシャーのペロとリナちゃんを看取って、かれこれ20余年。その間、前嶋さん、とにかく犬が目について仕方ありません。定年になるのを待ちに待って2代目リナちゃんを飼い始めました。

ちょうどそのころ、菊づくりが趣味だったお父様が栽培道具を入れていた小屋で、ノラ猫が仔猫を生みました。ご主人の博行さんの「亡くなったおやじの置き土産とちゃうか」の一言で、母猫は小梅ちゃん、三匹の子猫は長寿で話題の「きんさんぎんさん」にあやかり「きんちゃん」、「ぎんちゃん」、そして「な〜む」と名付けられました。翌年、小梅ちゃんは、「どうちゃん」を出産。小梅ちゃんは仔猫を常にわき腹に抱きかかえ、歩き始めると一時も目を離さず、オス猫がやっつこようものなら必死の形相で鳴きわめき戦い、仔猫たちを守り抜きました。前嶋さん、子育てに無我夢中に奮闘する小梅ちゃんに今までにない感動を味わったといいます。そして、これを機に小梅一家の不妊去勢手術を行い、めでたく前嶋さんちの猫家族が誕生しました。

しかし、残念なことに立派な母ちゃん、小梅ちゃんは一昨年、7歳の短い生涯を閉じました。

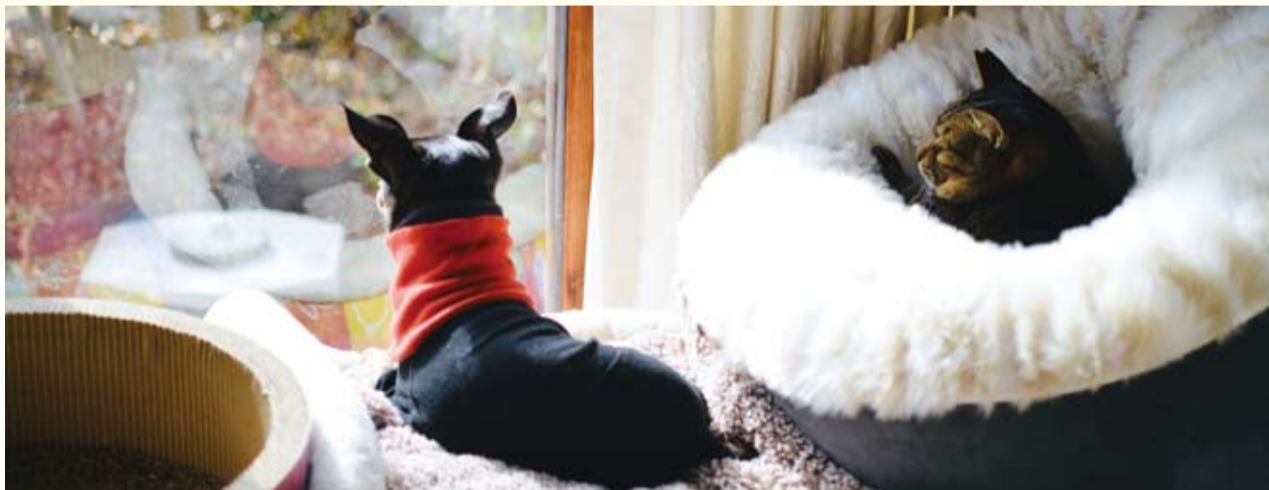
昨年の秋には小梅家に大事件が起こりました。ぎんちゃんが姿を消してしまったのです。ご近所を探し回ってもみつかりません。心配し気をもんでいた4日後、ガリガリにやせ衰えてぎんちゃんが帰ってきました。さっそく動物病院に連れて行くと、黄疸がでているとのこと。1か月間、毎日病院に通い輸液



をすることになりました。それと同時に出入り自由の小屋から母屋に引き取り、リナと一緒に暮らすようにしました。リナとぎんちゃん、相性が心配されましたが、性格の穏やかなリナちゃんはどうやらかといえ押され気味。ぎんちゃんに自分のクッションを横取りされても、争う兆しはありません。おかげでぎんちゃん、すっかり元気を取り戻し、家出前よりも恰幅がよくなりました。大きな目にも力が戻ってきました。

朝、リナちゃんはご主人と、ぎんちゃんはハーネスをつけて畑を散歩。犬も猫も人間もそれぞれに朝ごはんを終え、リナちゃんを連れてクルマで寝屋川の犬の保育園『BIG DOG』へ。夕方4時頃にはリナちゃんをお迎えに行き、その帰りに淀川の堤防を散歩。家に帰り、全員夕飯を済ませてくつろいでいると、リナちゃんが歯磨きガムをせがみにきます。小梅家に隣接した台所にやってきたどうちゃんたちが「にゃお〜」とおやつを催促。そしてリナちゃんはご主人の、ぎんちゃんは前嶋さんの寝床に潜り込み、どうちゃんたちはそれぞれの寝床でま〜るくなって眠りにつきます。

定年後の前嶋家はこうして、犬猫中心のほのぼのとした毎日が続きます。定年前と変わらないのは、関西では珍しい熱烈なジャイアンツファンであること。「猫・犬・巨人」が前嶋家の合言葉です。



ちょっといいかも
トピックス

愛猫と人が一緒に楽しむ 『ねこひげスタンド』



Photo by 猫足 natsu

「sakusaku は1999年から猫をモチーフにした陶器を制作・販売しています。

2011年、抜け落ちた愛猫のおひげをさして楽しんで保存する「ねこひげスタンド」を初めて考案。以来、沢山の愛猫家さん達にご愛用いただいています。

1匹ずつ作る完全手作りなので、一つとして同じ子がいません。その子との出会いは一期一会。そのためセミ・オーダーされるお客様もおられます。

一年ごとに新しいねこひげスタンドを購入されてその年のおひげの収穫を楽しまれる方も。

ねこのひげはラッキーアイテム。一本一本見つけてさすごとに、ねこひげスタンドのおひげがポーポーになる様子もまたお楽しみください。



■お問い合わせなど
ここだけの器 sakusaku Shop
<http://sakusaku.shop-pro.jp>
日々の活動は…
Twitter @sakusaku815
Instagram sakusakustudio

編集後記

新しい年も新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言で幕を開けてしまいました。残念でありませんが、この苦境を何とか切り抜きたいものです。

コロナ禍で創刊した「わんにゃお通信」ですが、第三号をお届けすることができました。これは、ひとえにみなさまからのご賛同によるご寄付の賜物です。心から感謝します。そして、変わらぬご支援を切にお願い申し上げます。

今号の特集では、「捨て犬・未来」の作品をたくさん出版されている児童文学作家 今西乃子さんに15歳になった未来ちゃんとの今を綴っていただきました。ペットが高齢になればなるほど、思い出の数は増え、その愛おしさは何物にも代えたいものです。幾度も読み返し、じっくりと味わっていただきたいエッセイです。

NPO法人ペットライフネット 代表理事 吉本由美子



NPO法人 ペットライフネット

〒550-0012 大阪市西区立売堀1-9-37 ニューライフ本町1階
営業時間▶10:00~17:00
Tel:06-6541-5733 Fax:06-6541-5722
Mobile:080-3821-6427
e-mail:wanyao@petlifenet.org <http://petlifenet.org/>



ペットと暮らすシニア世代を支援するネットワーク組織
特定非営利活動法人ペットライフネットは、
みなさまのご賛同とご支援で活動しています。

■わんにゃお会員: ペットライフネットのさまざまな活動に賛同し、積極的に参加して下さる方
会費: 年会費15,000円(一括払い)

■賛助会員: ペットライフネットの事業に共感し、会費で応援して下さる方
会費: 103,000円

[ご寄附・会費の振込先] ◎銀行: ゆうちょ銀行 ◎名称: 特定非営利活動法人ペットライフネット
◎店名: 四〇八(ヨンゼロハチ) ◎店番: 408 ◎種目: 普通預金 ◎口座番号: 5830454

会員募集中